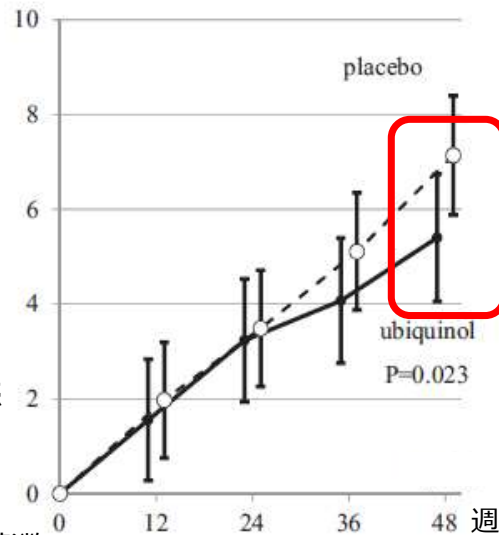


B-9-2

多系統萎縮症患者に対する還元型CoQ10による運動機能低下の抑制

A Least squares mean change in UMSARS part 2 score from baseline

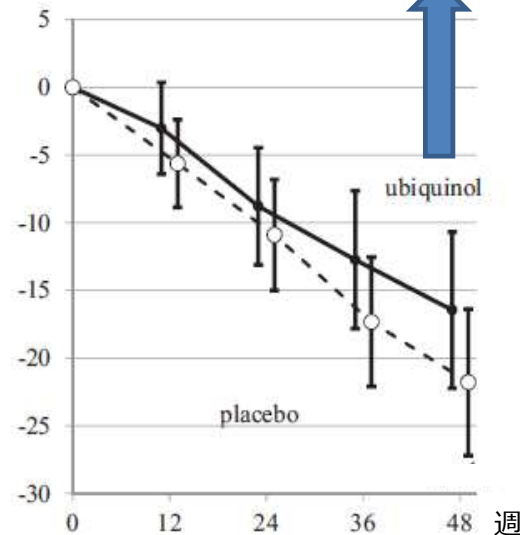


良い状態

解析対象者数

ubiquinol	61	58	53	50	47
placebo	68	66	62	59	55

B Least squares mean change in Barthel index score from baseline



良い状態

グラフは平均±標準偏差を表す

【試験方法】

- 試験デザイン：無作為化二重盲検対照比較
- 被験者：多系統萎縮症患者（30-79歳）
※自力または歩行補助具を使用して10m歩行が可能な者
- 食品：48週間摂取
還元型CoQ10 (ubiquinol)
(300mg/日で開始し、2週間毎に300mg増量して1500mg/日を継続)
またはプラセボ
- 評価：UMSARS part 2（統一多系統萎縮症評価スケールのうち、運動機能に関するもの）、Barthel Index（日常基本生活能力の評価スケール）、ほか

【結果】 還元型CoQ10群（ubiquinol）では、48週のUMSARS part 2（運動症状）の変化量がプラセボ群（Placebo）に比べて有意に低値だった。

(Mitsui J et al, eClinicalMedicine 2023;59:101920より作成)